

**第510回 7月25日開催
出席委員（50音順・敬称略）**

荒巻 裕	大村 英昭
木下 明美	國定 浩一
黒田 勇	櫻井 美幸
東野 博昭	藤原 健

◆ラジオ番組「はやみみラジオ!水野晶子です」

7月5日（水）6時00分～7時45分放送

毎日放送の第510回番組審議会は7月25日大阪市北区の本社で開かれ、月～金6：00～7：45放送のラジオ番組「はやみみラジオ!水野晶子です」を取り上げ、7月5日放送分を中心に審議しました。この番組は「一日の始まりに、本格的な情報番組を」とのコンセプトで、去年4月にスタート、最新のニュースと生活情報をできるだけコンパクトに、分かりやすく伝えることを目指しています。この日は、番組開始直前に入った北朝鮮のミサイル発射のニュースを中心に放送しました。

委員の主な意見

- * 北朝鮮のミサイルを詠んだリスナーの川柳。楽しい川柳ならともかく、難儀なことやのに水野さんはさらっと読まはった。そのテクニックがたけている。
- * ラジオ番組の速報性という意味でも、ライブ感覚あふれるすぐれた情報発信を、何か番組の特徴として打ち出してほしい。
- * 番組直前に飛び込んできた北朝鮮のミサイル発射のニュース、情報だけで1時間半よくこなした。普段から専門家のストックを持ち、緊急時に適切に対応している。

- * 北朝鮮の事情にくわしい大阪の大学教授の解説を入れて、東京のメディアでは言えないことを伝えた。別な眼のジャーナリズムを発揮している。

- * テレビは各局とも専門家と称する人を大勢引っ張り出していたが、あの段階では何もわからない状況。この番組では水野さんらが「何で 何でですのん」と繰り返して言っていたのは正直な反応で、考えるきっかけを作ってくれた。

- * 北朝鮮のミサイル発射と同時進行となって、非常に緊迫感のあるときに、情報を最も掌握している人がどう言うのか、それをどう伝えるのか。放送時間内にあった安倍官房長官の記者会見を生中継ではなく、録音したものを25分後に出したが、リアルタイムで出すべき。報道番組としては頼りない。

- * 水野アナウンサーの語りは落ち着いていてレベルの高さがうかがわれる内容。朝の時間帯なので、夕方や夜の番組とは区別をして、自分で意識して抑えているのだろうが、もう少し、らしさというのを出してもいいのでは。

- * 点数をつけると80点と、合格ラインを超えた番組。これからのことを注文すると、長年「イブニングレーダー」をはじめ、夕方の時間帯でやってきた番組が朝に移っているだけという印象は残る。そこからどう抜け出ていくのか。

◆委員の交代について

伊藤委員が退任され、毎日新聞大阪本社編集局長の藤原健(ふじわら・けん)氏が新たに委員に就任されました。

◆ラジオ聴取率調査結果について

4月そして6月に行われたラジオの聴取率調査の結果について、ラジオ局長が報告しました。

